

セブン&アイ・ホールディングスが 環境省の『CE チャレンジ』(※1)参加企業に選定

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井阪 隆一）は、環境省が推進する『CE チャレンジ』参加企業に選定されました。

『CE チャレンジ』は、循環経済に関する先進的な活動を行う事業者と国が連携し、優良事例の普及を通じて、国全体で循環経済の取り組みを推進することを目的としています。今回、環境省は、循環経済の構築に向けて積極的な活動の宣言を行っている3団体（※2）に対して、「CE チャレンジアワード」を付与し、団体の活動の進捗状況を定期的に確認するとともに、それらの活動を国内外に発信していくこととなりました。

当社は、2019年5月にセブン&アイグループの環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」を発表し、“豊かで持続可能な社会”の実現に向けて、「CO2 排出量削減」「プラスチック対策」「食品ロス・食品リサイクル対策」「持続可能な調達」の4つのテーマで、2050年までの目指す姿を定めました。

今回の選定を機に、国内で22,000店舗（19年2月末）を超える店舗ネットワークとサプライチェーン全体で、さらなる環境負荷低減を推進し、豊かな地球環境を未来世代に繋いでいくため、グループ全従業員が一丸となって取り組んでまいります。

< 『CE チャレンジ』の概要 >

- 環境省は、WEF（※3）等が推進するPACE（循環経済加速化プラットフォーム）の活動の一環として、『CE チャレンジ』を発足する。
- 循環経済に関する先進的な取り組みを行う事業者と連携し、優良事例の普及を通じて、国全体で循環経済の構築を推進する。

※1 CE チャレンジ（Circular Economy Challenge / サーキュラーエコノミーチャレンジ）は、6月15日（土）のG20環境・エネルギー大臣会合における環境大臣による発足宣言を受けて、6月17日（月）にCEチャレンジに参加する3団体を招き、発足会合を開催して発足する。

※2 Apple、一般社団法人 全国清涼飲料連合会、株式会社セブン&アイ・ホールディングス

※3 WEF（World Economic Forum / 世界経済フォーラム）は、官民両セクターの協力を通じて世界情勢の改善に取り組む国際機関。

～ ご参考 ～

1. 環境宣言名称：
セブン&アイグループ『GREEN CHALLENGE 2050』



2. 『GREEN CHALLENGE 2050』の内容

目指す姿	具体的な取組	2030年の目標	2050年の目指す姿
脱炭素社会	CO2 排出量削減	グループの店舗運営に伴う排出量 30% 削減（2013 年度比）。	グループの店舗運営に伴う排出量 80% 以上削減（2013 年度比）。
		自社の排出量（スコープ 1+2）のみならず、スコープ 3 を含めたサプライチェーン全体で削減を目指す。	
循環経済社会	プラスチック対策	オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する容器は、環境配慮型素材（バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙、等）50%使用。	オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する容器は、環境配慮型素材（バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙、等）100%使用。
		プラスチック製レジ袋の使用量ゼロ。使用するレジ袋の素材は、紙等の持続可能な天然素材にすることを旨とする。	—
	食品ロス・食品リサイクル対策	食品廃棄物を発生原単位（売上百万円あたりの発生量）50%削減（2013年度比）。	食品廃棄物を発生原単位（売上百万円あたりの発生量）75%削減（2013年度比）。
		食品廃棄物のリサイクル率 70%。	食品廃棄物のリサイクル率 100%。
自然共生社会	持続可能な調達	オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する食品原材料は、持続可能性が担保された材料 50%使用。	オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する食品原材料は、持続可能性が担保された材料 100%使用。

※目標は、社会環境変化に応じて見直してまいります。

3. 4つのテーマ別イノベーションチームの発足

「CO2 排出量削減」「プラスチック対策」「食品ロス・食品リサイクル対策」「持続可能な調達」の4つのテーマで新たなイノベーションに取り組むため、各事業会社の主管部門からリーダー（執行役員以上）を選出し、2030年、2050年の目標達成に向け、グループ横断での取り組みを推進する。

- 『GREEN CHALLENGE 2050』特設サイト

URL : https://www.7andi.com/csr/g_challenge.html

以上